

はじめに



東京都は、「東京都平和の日条例」で、3月10日を「東京都平和の日」と定め、平和の意義を確認するとともに、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施しております。

令和3年度は、令和4年3月10日、東京都庁において「第32回東京都平和の日記念式典」を開催いたしました。

記念式典の冒頭に東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々を追悼し、世界の恒久平和を願って黙とうを行い、厳粛な雰囲気の中で式典が執り行われました。

式典に引き続き、東京都交響楽団による記念公演を行い、「追悼と平和への祈り」の気持ちを新たにしました。

また、記念行事の一環として、東京芸術劇場、武蔵野市立武蔵野芸能劇場、国分寺市立cocobunjiプラザにおいて、「東京空襲資料展」を開催いたしました。

本報告書は、今回の東京都平和の日記念行事についてまとめたものです。

本書が平和の大切さを確認していただくための一助となれば幸いです。

結びになりますが、今回の東京都平和の日記念行事の実施にあたり、御協力をいただいた皆様に心から御礼を申し上げます。


令和4年3月

東京都




目次

はじめに	1
第一章／記念式典	3
概要	4
主催者挨拶	6
東京都知事 小池 百合子	6
東京都議会議長 三宅 しげき	7
来賓挨拶	8
在日外交団代表	8
駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ閣下	
東京空襲被災者代表 佐藤 富代様	10
式典風景	11
記念公演	14
第二章／普及啓発	19
告知	20
第三章／関連事業	23
東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑	24
「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」花壇デザイン画募集	25
東京空襲資料展	30
東京空襲資料展 チラシ	32
東京空襲資料展 展示品一覧	34
東京空襲写真パネル展示	39
第四章／資料	41
アンケート用紙	42
アンケート集計結果	43
東京都平和の日条例	48
東京都民平和アピール	49



第一章
記念式典





概要

第32回東京都平和の日記念式典

日時 令和4年3月10日(木)
午後2時～午後3時15分

場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場

プログラム	午後1時00分	開場・受付
	午後2時00分	記念式典
	午後2時30分	休憩
	午後2時45分	記念公演

※インターネット中継（東京動画）を実施

式次第

* 黙とう

* 国歌奏楽

* 主催者挨拶

東京都知事	小池 百合子
東京都議会議長	三宅 しげき

* 来賓挨拶

在日外交団代表	駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ閣下
東京空襲被災者代表	佐藤 富代様

Memorial Ceremony Program



The 32nd Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Ceremony

■ **Date and time** Thursday, March 10, 2022 2:00PM - 3:15PM

■ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall

■ **Program** 1:00PM Open
2:00PM Memorial Ceremony
2:30PM Intermission
2:45PM Memorial Concert

※ Live broadcast on the Internet
(Tokyo Metropolitan Government Official Video Channel)

Memorial Ceremony

Silent Prayer

National Anthem of Japan

Greetings from the Organizers

Governor of Tokyo

Koike Yuriko

President of the Tokyo Metropolitan Assembly

Miyake Shigeki

Messages from the Distinguished Guests

Representative for Diplomatic Corps in Japan

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of San Marino

H.E. Mr. Manlio CADELO

Representative of the Tokyo Air Raid Victims **Ms.Sato Tomiyo**

主催者挨拶



東京都知事

小池 百合子

本日ここに、御遺族の皆様、都民の皆様、御来賓の皆様をお迎えし、「第32回東京都平和の日記念式典」を執り行うに当たり、ご挨拶を申し上げます。

東京は、先の大戦で、度重なる空襲により甚大な被害を受けました。中でも、昭和20年3月10日、下町地区を中心に襲った大空襲では、一夜にして10万人ともいわれる尊い命が奪われました。

大空襲により焦土と化した当時の悲惨な光景と、家族や友人を失った深い悲しみは、今なお、被災した方々の心の中に、重く、深く刻み込まれています。

犠牲となられた方々の御無念と御遺族の御心痛に思いを致しますと、痛惜の念を禁じ得ません。

東京都民を代表し、尊い命を奪われた御霊に謹んで哀悼の誠を捧げ、御遺族の皆様にご心から追悼の意を表します。

私たちが今享受している平和と繁栄は、多くの尊い犠牲と先人たちの懸命の努力の上に築かれたものです。そのことを深く心に刻み、戦争を経験したことがない世代が大半を占めるようになった今、戦争の悲惨な記憶をしっかりと次の世代に語り継ぎ、平和の大切さを伝えていかなければなりません。

東京都では、平和の意義を確認し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、3月10日を「東京都平和の日」と定め、記念行事を実施しております。

都立横網町公園内には、祈念碑を建設し、その内部には東京空襲で犠牲になった方々のお名前を記録した「東京空襲犠牲者名簿」を納めております。

本年は、新たに30名の方々のお名前を追加し、合計81,325名の方々が登載されております。

世界は今なお、他国への侵攻や、地域紛争、テロ行為が絶えず、飢餓や貧困もまた人々を苦しめています。世界共通の危機である新型コロナウイルスとの闘い、さらには気候危機に立ち向かっていくためにも、国際的な連携や協力が不可欠です。

昨年夏に開催された平和の祭典、オリンピック・パラリンピックのレガシーを磨き上げ、東京を持続可能な、希望あふれる都市へと進化させて、世界にも貢献していくことをお誓い申し上げます。

結びに、犠牲となられた方々の御冥福と御遺族の皆様のご健勝、御多幸を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

主催者挨拶



東京都議会議長
三宅 しげき

本日ここに、ご遺族をはじめ、平和を願う都民の皆様とともに、第32回「東京都平和の日」記念式典を執り行うに当たり、東京都議会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

幾多の悲しみをもたらした先の大戦の終結から、早や77年の歳月が過ぎ去ろうとしています。戦禍の中、多くのかけがえのない命が失われましたことは、私たち日本国民にとって、永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。

東京の街は、昭和17年4月18日以来、度重なる空襲を受け、昭和20年3月10日の大空襲では、下町を中心とした地域が一夜にして焦土と化し、多くの都民が犠牲となりました。亡くなられた方々のご無念と、最愛の肉親を失われたご遺族の心中を拝察しますと、誠に痛惜の念に堪えません。

我が国では、昭和から平成、そして令和へと時代が変わり、戦後生まれの世代が大半を占めるようになった今、この豊かで安穏な社会を当然のように考えてしまいがちです。

しかし、今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦災で命を落とされた方々の尊い犠牲と、ご遺族の皆様方のご労苦の上に築かれたものであります。いかに時代が移り変わろうとも、私たちは、このことを決して忘れてはなりません。

そして、謙虚に歴史と向き合い、人類の過ちの歴史や悲劇を二度と繰り返さないためにも、その記憶を風化させることなく、未来へと語り継ぎ、希望に満ち溢れ、健康で心豊かな社会を築き上げていくことが、今生きている私たちに課せられた使命であります。

世界においては、依然として政治・経済・軍事にわたる国家間の競争が顕在化し、未だ紛争が絶えず、平和を脅かす状況が続いています。また、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、数多の人々が病に伏し、多くの尊い命が失われ、私たちの日常生活は、ウイルスの感染拡大という目に見えない恐怖の中にあります。

この未曾有の危機を乗り越えるためには、国という垣根を越えて、人類の英知を結集し、国際的な連携や協力を今まで以上に深めていくことが必要です。

東京都議会といたしましても、今月3日の本会議において、ウクライナからのロシア軍の即時撤退と速やかな平和の実現を求める決議を全会一致で可決したところです。あらゆる人々がお互いに尊重し合い、安寧に暮らせる社会を築き、未来永劫、平和を継承していくことが、犠牲となられた方々に対する私たちの責務であることを深く胸に刻み、今後とも世界の恒久平和の実現に全力を尽くしてまいります。

結びに、戦災で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご列席の皆様のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶



在日外交団代表
駐日サンマリノ共和国特命全権大使
マンリオ・カデロ閣下

小池百合子東京都知事
各国の大使閣下
そしてご来賓の皆様

第二次世界大戦中の東京大空襲があったこの日に、第32回東京都平和の日記念式典で、在日外交団代表としてお話しすることを、大変嬉しく、また光栄に思っています。

戦争が、いかなる場合においても正当化されることのない、悲惨で取り返しのつかない結果をもたらすということは、多かれ少なかれ、誰もが知っている通りです。どんな戦争にも本当の勝者はおらず、勝っても負けても、罪のない人間や市民、兵士らの多くの命が失われ、大きな経済的損失を被り、多くの損害を受けることになります。

現在は21世紀であります。紀元前13,000年にメソポタミアで起きた最初の戦争以来、これまでに世界中でたくさんの戦争が行われてきました。それでもなお、戦争が我々全員にとってどれほど恐ろしく、残酷で、悲惨で、無益なものであるかを、そして、戦争中は無論のこと、戦後にいたっても、辛い記憶や憎しみ、恨み、そして取り返しのつかないあらゆる損害を与え、人類の歴史において容易には許せない記憶となるということ、人類はまだまだ認識していません。

日本は世界で最も戦争で苦しんだ国であり、戦争の恐ろしさを誰よりもよく知っている国であります！日本は平和を愛する国であり、戦争にはなんの益もなく、敗者ばかりで真の勝者などいないということを証明し、それを示してくれる、世界でも最良の例となっています。日本は世界平和のリーダーとなり、世界中の理性的な国々と共に、あらゆる戦争を止めるため、国際的な平和運動を続けるべきです。そして国家間に争いのある時には、双方の納得できる妥協点を見出すため、あるいは少なくとも戦争の勃発を回避して人々の命を守り苦しみから救うために、オランダの国際司法裁判所を利用するべきなのです。

2020年以来、新型コロナウイルス感染症により世界中が苦しい状況にあります！目に見ることさえできないウイルスが前例のないほど急速に広がり、深刻な国際危機を引き起こしています。それにもかかわらず、多くの先進国はいまなお戦争を目的とした新兵器やロボットを作っているのです！世界には治療法が確立していない病気が11,000種類もあるというのに、13,000個もの核兵器が存在しているのです！！！！いったい人類はいつになれば戦争や勝負よりも平和や健康のほうが重要だと気が付くのでしょうか？みなさん、より良い理性的な世界のために、平和と調和の実現に向け、共に力を尽くしましょう！

ご清聴ありがとうございました。

Messages from the Distinguished Guests



Representative for Diplomatic Corps in Japan
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of San Marino

H. E. Mr. Manlio CADELO

Her Excellency the Governor of Tokyo Madame Yuriko KOIKE
Your Excellencies, ladies and gentlemen,

I am honored with pleasure to read this brief message in behalf of my distinguished colleagues on the occasion of the Great Tokyo Air raid during World War Two for the 32nd Anniversary of the Tokyo Metropolitan Peace day.

Everybody already knows more or less the terrible and irreparable consequences of wars which damages cannot be justified under no circumstances, since in any war there is no really a winner, both losers and winners will suffer many kinds of damages losing many lives of innocent human beings, civilians, soldiers, with great financial loss of all kinds.

We are in the 21st century and since the very first war in Mesopotamia 13,000 years B.C, so many wars all over the world were fought and still human being did not realize how horrible, cruel, damages and useless wars causes to all of us, not only during the actual wars, but also after the wars with bad memories, rancor, resentment, and irreparable damages of all kinds of things which remain in the men's history, memories with no easy forgiveness.

Japan is the world's most suffered war country and no one know better than Japan how horrible is the war! Japan is peace loving country and the best sample worldwide to prove and demonstrate that wars have no advantages what so ever, but only losers and no real winners. Japan should be the leader for world peace and together with all world rational countries to continue an international peace campaign to stop all kinds of wars and in case of country's dispute to use the International Court of Holland and to reach a compromise of both satisfaction or at least to avoid to start any kind of wars in order to save human suffering and lives.

Since 2020 worldwide is severely penalized by the severe Covid-19! A virus which could spread so rapidly to create a very serious international crisis without any precedents before, just a virus which we cannot even see! Nevertheless still many leader countries are making new weapons and robots for war purpose! There are in the world 11,000 different types of diseases with not all cures but there are 13,000 nuclear weapons!!!When human kind will realize that PEACE and HEALTH are more important than wars and games? Ladies and gentlemen let's all be together do our best to achieve PEACE and HARMONY for a better and rational world!

Thank you for the kind attention.

来賓挨拶



東京空襲被災者代表
佐藤 富代様

中野から参りました、佐藤でございます。私は、現在92歳になりまして、この空襲を体験したということで本日お招きいただきました。

女学校の2年生の時、学徒動員ということで、先生引率のもと、昭和飛行機製作所の工場地帯へ行きました。今は、昭島の昭和記念公園になっております。この手で飛行機を作ったのです。毎日そういう仕事をしておりましたが、だんだん空襲が激しくなり、そのつど防空壕に入っていたりしていました。そういう状況なので、今度は飛行機会社の経理事務系だけが昭島の方に移りました。事務所は、農家の養蚕小屋を改装した場所でした。そのせいで私達生徒も、五日市線の一番最後の駅の旅館が一当時旅館は営業出来ませんので空いておりました一宿所になりまして、学校の先生引率のもとにそちらに移り、西秋留にある会社の事務所に毎日通い、事務のお手伝いをしました。

15、6歳の子供ですから事務と言っても本当にお手伝い、伝票の整理などそういう形なのですが、それでも親元を離れて寮に入りそういう仕事を毎日していたわけです。こういう時に何ですけれども、私としてはそういう経験の無いことをやるのはちょっと楽しかったのです。親元を離れて毎日先生引率のもとに寮に入ったわけですから。田んぼのあぜ道を通りながら事務所へ通って、事務のお手伝い、色々な伝票の整理などをしていたのですけれども、初めてそういうところを通ったものですから、セリの生えているのを覚えたり、つくしが出ているのを覚えたり、それなりに色々なことを覚えました。それも今となればちょっと楽しかったなど。

寮は寮母さんが付いてちゃんとコックさんがいて、食事を作ってくれていて私達はそれをいただいて、お風呂は当番制で沸かしにいったりして。元は旅館でしたので小部屋が幾つもある。ですから友達3人くらいずつ部屋に住んで生活したわけです。それが約1年続きました。ある日、友達が窓から東京の方を見て「何か東京が真っ赤だよ」と騒いだのが、この3月10日の空襲だったのです。

皆さん親元を離れて寮生活をしていたものですから心配しました。でもそこから飛んで帰るわけにもいきません。ある時、吉祥寺の工場がやられ、立川から中野の家までずっと歩いて帰った経験があります。そんなことを繰り返していたもので寮に入ったのですが、そのように私も色々な経験をしました。西秋留にいる時は、近所の農家のおばさんが親切で「おやつで、おもいをふかしたから食べにおいで」などとよく声を掛けていただいたりしたものです。

私も今は92歳ですから友達はほとんどもうおりません。皆さん歳で亡くなっておりますが、思い出としては苦しかったけども、半分私達はそれなりに楽しかったと思っております。修学旅行と同じです。疎開ということをしたことが無い友達同士で部屋で遊んだりしたものですけれども、日曜日は親元にたまには帰ったりしたのです。その時に、8月の終戦の知らせを聞いたというのが私の経験です。

もう何十年も昔のことを思い出して話をさせていただきましたが、平和になるには、やはりそれぞれ国民の皆さんの考えが必要なのです。正しい考えで皆が幸せに暮らせるようなことをやらないと。何人かの考えでどうなってしまうか、この先は分かりませんが、いつまでも幸せで生きたいなと思っております。私は100歳までは生きるつもりでおります。あと10年頑張ろうと思っております。どうぞ皆さんよろしく願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

式典風景



会場全景



黙とう

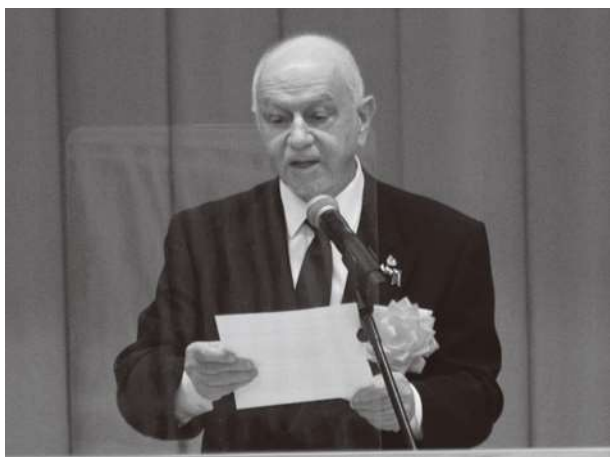
式典風景



東京都知事挨拶



東京都議会議長挨拶



在日外交団代表挨拶



東京空襲被災者代表挨拶



登壇者(主催者)



登壇者(来賓)

式典等風景



祈念碑の公開風景 (横網町公園)



バス受付風景 (横網町公園)



式典受付風景



式典受付風景



会場風景 (ロビー)



会場風景



記念公演

第32回東京都平和の日記念公演
「追悼と平和への祈り」
～東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル～

日時 令和4年3月10日(木)午後2時45分～午後3時15分
場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
演奏 東京都交響楽団

プログラム

- ◆ J. S. バッハ : 主よ人の望みの喜びよ
- ◆ J. ハイドン : 弦楽四重奏曲第 67 番《ひばり》ニ長調より第 1 楽章
- ◆ A. ボロディン : 弦楽四重奏曲第 2 番より 第 3 楽章《ノクターン》
- ◆ 岡野貞一作曲、いとうたつこ編曲 : ふるさと
- ◆ 團伊玖磨作曲、飯吉高編曲 : 花の街

Memorial Concert Program



The 32nd Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Concert
"Mourning and Pray For Peace"
By the Members of the Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

- **Date and time** Thursday, March 10, 2022 2:45PM - 3:15PM
■ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall
■ **Performer** Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Program

- ◆ J.S.Bach : Jesu Joy of Man's Desiring from Cantata BWV147

- ◆ J.Haydn : String Quartet No. 53 in D Major,
Op. 64, No. 5, Hob.III:63, "The Lark" I. Allegro moderato

- ◆ A.Borodin : String Quartet No. 2 in D Major III. Notturmo: Andante

- ◆ Furusato "My Home Town"

- ◆ Hana no Machi "Town of Flowers"

記念公演

公益財団法人 東京都交響楽団 プロフィール

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。歴代音楽監督は森正、渡邊暁雄、若杉弘、ガリー・ベルティエニ。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会を中心に、都内小中学生のための音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、福祉施設への訪問演奏の他、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラガ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開している。受賞歴に、「京都音楽賞大賞」(第6回)、インバル指揮『ショスタコーヴィチ:交響曲第4番』でレコード・アカデミー賞〈交響曲部門〉(第50回)、『インバル=都響 新・マーラー・ツィクルス』で同賞〈特別部門:特別賞〉(第53回)など。

CDリリースは、上記のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年11月には大野和士の指揮でヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

公式ウェブサイト <https://www.tmsso.or.jp/>

出演者

第1ヴァイオリン：渡邊 ゆづき

ヴィオラ：樋口 雅世

第2ヴァイオリン：田中 雅子

チェロ：高橋 純子

記念公演



